

1年次で「防災教室」を実施しました。

9月20日（水）1・2限、1年次生全員（160名）を対象とした「**防災教室**」を総合実践室で実施しました。講師は、国土交通省国土技術政策総合研究所の長屋和宏先生他2名の方をお願いしました。前半は避難場所と避難所の**講話**、後半は「**避難所開設ワークショップ**」でした。下の記事と写真は、1A担任の飯倉先生が発行している学級だよりから転用させていただきました。生徒たちの**ワークへの取組が素晴らしい**ですね(^_^)。

防災教室の様様。印象的だったのは、「**中学生は守られる側ではない**」ということ。自覚をして自ら行動する存在なのでしょう。被災した時だけではなく、**自分で判断して行動**しなければいけない場面は増えてくることでしょう。さて、東日本大震災のときは、みなさんは、幼稚園生だったということ・・・それでも、覚えている人も多いようでした。

防災教室では、**避難所の設計**をしました。学校を避難所として見立て、居住スペースを考え、収容人数を割り振ったり、使用するトイレを決めたりと・・・グループでの活動でしたが、**みんな生き生きとそして、真剣に考えていました**。実際の被災地でもそうだと思いますが、次々と**封筒に書かれた指令**が来ます。状況は刻一刻と変化していくであろう被災地の状況に合わせて**臨機応変な対応**が求められることでしょう。個人的には、この封筒によるミッションの追加というアイデアを他の事でも生かせそうだな・・・と。

